

登録コード	TSX05500	開講年度	2026			
授業科目	建築保存再生設計学				担当教員	土本 俊和
英文授業名	Course on Architectural Conservation and Rehabilitation				副担当	中村 駿介
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生
講義室	工W7-105教室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力	
(2)授業の概要	本講義は、学外で技術を実践していく上の前提として、学生がうけるレクチャーである。達成目標は二つに亘る。第一は、古い建物を具体的に保存したり再生したりする作業のための基礎的な知識を獲得していくことである。第二には、新しい建築(新建築)を古い環境(都市、農村、山岳)のなかへ参加させていく上での基礎的な知識を獲得してことである。実務教育というと、比喩的にいえば、かつての水泳教育は、泳ぎ方を教える前に、いきなり海の中へ子供を投げ込むといった手法に似ていた。本講義は、逆に、いきなり海の中へ子供を投げ込む前に、子供に泳ぎ方を教える手法を目指している。具体的には、上記<概要>で記した二つの達成目標を掲げている。その理由は、本講義の知識が、未来に実務に対して、開かれた形で、応用されていくことをねらっているからである。					
(3)授業計画	04/10 第1回 はじめに:保存再生設計の理論と実践A 04/17 第2回 保存再生設計と都市1(町屋再生と京都) 04/24 第3回 保存再生設計と都市2(イタリア都市再生の事例) 05/01 第4回 保存再生設計と農村1(本棟造の再生と信州) 05/08 第5回 保存再生設計と農村2(ドイツ木造農家の再生) 05/15 第6回 保存再生設計と山岳1(山小屋の再生と日本アルプス) 05/22 第7回 保存再生設計と山岳2(スイス山岳建築の再生) 05/29 第8回 保存再生設計と現代建築家1(カルロ・スカルパ、降幡廣信による建築作品) 06/05 第9回 保存再生設計と現代建築家2(ペーター・ズムトー、ジョン・カミナダによる建築作品) 06/12 第10回 保存再生設計に関する様々な構法と材料1(伝統的木架構、古材、地場産材、天然乾燥木材) 06/19 第11回 保存再生設計に関する様々な構法と材料2(茅葺、瓦葺、取葺、杮葺、檜皮葺、土壁、石積) 06/26 第12回 保存再生設計に先行する調査と基本構想1(保存状態調査、痕跡調査、復原的考察) 07/03 第13回 保存再生設計に先行する調査と基本構想2(純真性authenticity、完全性integrity) 07/10 第14回 保存再生設計に関する討論 07/17 第15回 まとめ:保存再生設計の理論と実践					
(4)成績評価の方法	本講義は、基本的にレクチャーであるが、座学というより、フィールドに即した学である。アルベルティ以後の、現代の設計業務は、設計と施工が分離された形式へと進化した側面がある一方、アルベルティに関わりなく、設計と施工が未分化のまま進化した側面もある。本講義は、設計と施工に関する、この二つの側面を視野におさめつつ、具体的にはフィールドに即した学を提供する。また、従来、建築は、純化へと向かった近代建築の果てが混構造を生んだという側面ではなく、むしろ、歴史的にみれば、建築はそもそも原初から混構造であったという側面を踏まえて、本講義では、木造、S造、RC造など、様々な材料と構法を扱う。評価基準は、具体的なフィールドに即した、様々な材料と構法を厚かった成果物を以て、おもにレポート提出を通じて、行う。					
(5)成績評価の基準	毎回のレポートならびに最終レポートで評価する。60点以上を取れば、可。					
(6)事前事後学習の内容	テキストを事前事後に読み、レポートにまとめること					
(7)履修上の注意	テキストは授業の進行に応じて、随時配布されます。					
(8)質問、相談への対応	メールで対応します。 tsuch01@shinshu-u.ac.jp					
(9)その他						
【教科書】	指定しない。					
【参考書】	土本俊和『中近世都市形態史論』中央公論美術出版、2003年 土本俊和編『棟持柱祖形論』中央公論美術出版、2011年					